

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成21年7月23日(2009.7.23)

【公開番号】特開2007-301250(P2007-301250A)

【公開日】平成19年11月22日(2007.11.22)

【年通号数】公開・登録公報2007-045

【出願番号】特願2006-134528(P2006-134528)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成21年5月11日(2009.5.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技領域を特定領域が設けられる第 1 の遊技領域とその他の第 2 の遊技領域とに区画形成する役物と、

前記第 2 の遊技領域に設けられる第 1 の始動口と、

前記第 2 の遊技領域に設けられる第 2 の始動口と、

前記第 1 の遊技領域内への遊技球の進入の確率が高くなるように動作可能な第 1 の可動片と、

前記第 1 の始動口への遊技球の入球の必要条件となる動作を行う第 2 の可動片と、

予め定められた数値範囲内で更新される数である乱数が保持される乱数保持手段と、

前記第 2 の始動口に遊技球が入球されることに基づいて前記第 2 の可動片の動作契機となる当たりについての当落にかかる抽選処理を行う抽選手段と、

前記抽選手段により前記当たりが当選されることに基づいて前記第 2 の可動片の駆動制御を行うとともに当該駆動制御に応じた前記第 2 の可動片の動作によって入球可能とされた前記第 1 の始動口に遊技球がさらに入球されたとき、前記第 1 の可動片の駆動制御を行う駆動制御手段と、

前記駆動制御手段による前記第 1 の可動片の駆動制御を通じて前記第 1 の遊技領域内に進入した遊技球が前記特定領域に受け入れられたとき、遊技者にとって有利な特別遊技を行う特別遊技実行手段と、を備え、

前記駆動制御手段は、予め定められた特定の条件が満たされた後の所定の期間は当該期間が経過した後の通常の期間よりも前記第 2 の遊技領域に所定数の遊技球が打ち込まれたときの前記第 1 の遊技領域内に入球される遊技球の数が多くなるように前記第 2 の可動片の駆動制御を行う遊技機であって、

前記駆動制御手段は、前記特定の条件が満たされるときは、前記通常の期間及び前記所定の期間のいずれの期間中に当該条件が満たされるかを判断するとともに、前記通常の期間中に前記特定の条件が満たされると判断されるときは、前記所定の期間としての第 1 の期間だけ前記第 1 の遊技領域内に入球される遊技球の数が多くなるように前記第 2 の可動片を駆動制御し、前記所定の期間中に前記特定の条件が満たされると判断されるときは、前記第 1 の期間よりも長い前記所定の期間としての第 2 の期間だけ前記第 1 の遊技領域内に入球される遊技球の数が多くなるように前記第 2 の可動片を駆動制御する

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記駆動制御手段は、前記所定の期間中であるか否かを示す期間情報が記憶される期間情報記憶手段を備え、前記特定の条件が満たされたときは、該期間情報記憶手段に記憶されている期間情報に基づいて前記通常の期間及び前記所定の期間のいずれの期間中に当該条件が満たされたかを判断するものである

請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記抽選手段による前記抽選処理の結果には、前記第 2 の可動片の動作時間として各々異なる動作時間を示す動作時間情報がそれぞれ対応付けられた複数種の当たりが前記第 2 の可動片の動作契機となる当たりとして含まれ、前記駆動制御手段は、前記第 2 の可動片の駆動制御を行うときは該当する当たりの種類に応じた動作時間だけ前記第 2 の可動片が動作するように前記第 2 の可動片の駆動制御を行う

請求項 1 または 2 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

こうした目的を達成するため、請求項 1 に記載の発明では、遊技領域を特定領域が設けられる第 1 の遊技領域とその他の第 2 の遊技領域とに区画形成する役物と、前記第 2 の遊技領域に設けられる第 1 の始動口と、前記第 2 の遊技領域に設けられる第 2 の始動口と、前記第 1 の遊技領域内への遊技球の進入の確率が高くなるように動作可能な第 1 の可動片と、前記第 1 の始動口への遊技球の入球の必要条件となる動作を行う第 2 の可動片と、予め定められた数値範囲内で更新される数である乱数が保持される乱数保持手段と、前記第 2 の始動口に遊技球が入球されることに基づいて前記第 2 の可動片の動作契機となる当たりについての当落にかかる抽選処理を行う抽選手段と、前記抽選手段により前記当たりが当選されることに基づいて前記第 2 の可動片の駆動制御を行うとともに当該駆動制御に応じた前記第 2 の可動片の動作によって入球可能とされた前記第 1 の始動口に遊技球がさらに入球されたとき、前記第 1 の可動片の駆動制御を行う駆動制御手段と、前記駆動制御手段による前記第 1 の可動片の駆動制御を通じて前記第 1 の遊技領域内に進入した遊技球が前記特定領域に受け入れられたとき、遊技者にとって有利な特別遊技を行う特別遊技実行手段と、を備え、前記駆動制御手段は、予め定められた特定の条件が満たされた後の所定の期間は当該期間が経過した後の通常の期間よりも前記第 2 の遊技領域に所定数の遊技球が打ち込まれたときの前記第 1 の遊技領域内に入球される遊技球の数が多くなるように前記第 2 の可動片の駆動制御を行う遊技機であって、前記駆動制御手段が、前記特定の条件が満たされたときは、前記通常の期間及び前記所定の期間のいずれの期間中に当該条件が満たされたかを判断するとともに、前記通常の期間中に前記特定の条件が満たされたと判断されるときは、前記所定の期間としての第 1 の期間だけ前記第 1 の遊技領域内に入球される遊技球の数が多くなるように前記第 2 の可動片を駆動制御し、前記所定の期間中に前記特定の条件が満たされたと判断されるときは、前記第 1 の期間よりも長い前記所定の期間としての第 2 の期間だけ前記第 1 の遊技領域内に入球される遊技球の数が多くなるように前記第 2 の可動片を駆動制御することを要旨とする。

また、請求項 2 に記載の発明では、請求項 1 に記載の遊技機において、前記駆動制御手段は、前記所定の期間中であるか否かを示す期間情報が記憶される期間情報記憶手段を備え、前記特定の条件が満たされたときは、該期間情報記憶手段に記憶されている期間情報に基づいて前記通常の期間及び前記所定の期間のいずれの期間中に当該条件が満たされたかを判断するものであることを要旨とする。

また、請求項 3 に記載の発明では、請求項 1 または 2 に記載の遊技機において、前記抽

選手段による前記抽選処理の結果には、前記第 2 の可動片の動作時間として各々異なる動作時間を示す動作時間情報がそれぞれ対応付けられた複数種の当たりが前記第 2 の可動片の動作契機となる当たりとして含まれ、前記駆動制御手段は、前記第 2 の可動片の駆動制御を行うときは該当する当たりの種類に応じた動作時間だけ前記第 2 の可動片が動作するように前記第 2 の可動片の駆動制御を行うことを要旨とする。